

平成22年度 事業報告

事業年度の開始早々に宮崎県下で発生した口蹄疫は、3か月に亘る懸命の防疫活動を経て、29万頭にも及ぶ壊滅的な被害を出して、漸く鎮火した。この間、協会会員も防疫用資材の安定的な供給に努めるとともに、協会も予備費を出動して被災農家、診療獣医師に対する支援を行った。また、昨年10月に北海道において野鳥から高病原性鳥インフルエンザウイルスが分離され、鳥の南下に伴い本州、九州の養鶏場に高病原性鳥インフルエンザが発生し、今日でも予断の許さない状況にあるなど、悪性感染症の防疫の難しさを顕在化させ、防疫資材を供給する協会会員の使命の重要性を再認識させられる結果となった。

更に、事業年度終了間際には気象観測史上にも類を見ない極めて甚大な被害を及ぼした東北太平洋沖地震及び津波が発生し、被災者が受けた苦渋には言葉にもならない状況であり、被災された皆様、各地に避難されている皆様に衷心よりお見舞いを申し上げ、一日も早い復興・復旧を祈念する。

このような極めて厳しい情勢の中、動物衛生の向上に貢献するため、新薬開発、承認審査上の諸課題の解消、規制緩和対策等に積極的に取り組むとともに、動物用医薬品に係る情報の収集・伝達、動物用医薬品等の開発・改良の促進及び普及の推進に努めた。

平成22年度においては、極めて厳しい現状の中を動物用医薬品等の規制措置への的確な対応に資するため、会員への情報伝達の円滑化に努めるとともに21年度の事業計画に従って次の各種事業等を実施したところである。

1 会員の異動

(1) 正会員

前年度（平成21年度末）の正会員数は73所社（製造会員51、輸入会員20、精密機械器具製造会員1、販売業会員1）であったが、本年度においてエコファーマ株式会社の新規加入があったものの、フォートダッジ株式会社、ニッチク薬品工業株式会社、アグロケミテック株式会社、富士ケミカル工業株式会社、兼松食品株式会社、メルシャン株式会社が退会したことから、平成22年度末の正会員数は68社（製造会員46、輸入会員20、精密機械器具製造会員1、販売業会員1）となっている。

(2) 賛助会員

前年度（平成21年度末）の賛助会員数は16団体（所社・人）であったが、本年度において獣医医療開発株式会社、プレシジョン・システム・サイエンス株式会社、日本ライフサイエンス株式会社が新たに加入したことから、平成22年度末では19団体（所社・人）となっている。

2 総会及び理事会

通常総会1回、理事会3回を開催した。開催日時、場所及び議題は次のとおりである。

(1) 第43回（平成22年度）通常総会

日時：平成22年5月25日（火）16:00～18:00

場所：KKRホテル東京（瑞宝の間）

議題：第1号議案 平成21年度事業報告及び収支決算に関する件
第2号議案 平成22年度事業計画（案）及び収支予算（案）に関する件
第3号議案 平成22年度会費の額及び納入方法に関する件
第4号議案 役員の改選に関する件

(2) 平成22年度第1回理事会

日時：平成22年5月13日（木）14:00～16:35

場所：ホテル聚楽（白鳥の間）

議題：第1号議案 第43回通常総会に付議する事項に関する件
第2号議案 第43回通常総会の日程に関する件
第3号議案 役員候補の推薦に関する件
第4号議案 動物用医薬品安全等対策推進協議会の設立に関する件
第5号議案 正会員の入会に関する件
第6号議案 賛助会員の入会に関する件
第7号議案 賛助会員の入会に関する件
第8号議案 薬剤耐性菌調査研究協議会への加入に関する件
第9号議案 第13回全日本ホルスタイン共進会への動物用医薬品等の寄贈依頼に関する件

(3) 平成22年度第2回理事会

日時：平成22年7月15日（木）14:00～16:10

場所：東京ガーデンパレス（白鳳の間）

- 議題：第1号議案 委員会担当理事の選任に関する件
第2号議案 平成22年度事業実施計画に関する件
第3号議案 人とペットの豊かなくらしフェアへの協賛に関する件
第4号議案 口蹄疫被害への義援金の応募に関する件
第5号議案 賛助会員の入会に関する件

(4) 平成22年度第3回理事会

日時：平成22年12月16日（木）15:00～16:30

場所：KKRホテル東京（白鳥の間）

- 議題：第1号議案 平成23年度暫定予算（案）に関する件
第2号議案 定款の変更の案に関する件
第3号議案 事業区分の変更に関する件
第4号議案 新規補助事業の受け入れに関する件

3 総務委員会等の開催

(1) 22年度第1回総務委員会

日時：平成23年3月25日

開催：東日本大震災による交通事情悪化につきメール開催

- 議題：1 平成23年度事業計画及び予算立案方針について
2 平成23年度会費の賦課方針について
3 役員補選の方式について
4 国庫補助事業等への対応について

(2) 第5回新公益法人化対応小委員会

日時：平成22年11月9日（火）14:00～17:00

場所：東京薬業厚生年金基金第3／4会議室

- 議題：1 定款の変更案について
2 事業内容及び実施方法の変更案について

4 動物用医薬品等の学術の振興及び普及に関する事業

学術講習会、製造販売管理者講習会の開催、会報の刊行・配布、製造販売指針の刊行、教育研修委員会、広報委員会の開催等広報活動を通して、学術

の振興及び普及の促進を図った。

(1) 講習会等の開催

ア 第42回学術講習会

開催日：平成22年11月16日（火）10:30～16:20

場 所：薬業健保会館講堂

参加者：137名（会員126名、一般11名）

講演及び講師：

- ①最近の動物衛生（動物薬事）を巡る諸情勢について
（農林水産省消費・安全局畜水産安全管理課 池田課長）
- ②特別講演
 - i 畜産現場における疾病と活用される薬と期待される薬
（日清丸紅飼料株式会社総合研究所 矢原芳博リーダー）
 - ii 世界における口蹄疫の現状と日本の口蹄疫について
（動物衛生研究所海外病担当坂本研一研究管理監）

イ 第31回動物用医薬品等製造販売管理者講習会

(ア) 開催地：東京

開催日：平成23年2月18日（金）10:00～16:10

場 所：日本教育会館大ホール

参加者：138社 312名

(イ) 開催地：大阪

開催日：平成23年2月25日（金）10:00～16:10

場 所：ホテルグリーンプラザ（ダイヤモンドの間）

参加者：78社 132名

(講演内容)

- ①最近の動物薬事を巡る諸情勢について
- ②動物用医療機器の製造販売承認申請の手続きについて
- ③動物用医薬品の製造販売承認申請の手続きについて
- ④動物用医薬品等の製造販売許可申請の手続きについて

ウ 抗菌性物質の世界的規制に関する特別講演会

開催日：平成22年10月13日（水）14:30～17:00

場 所：中央大学駿河台記念会館320号室

参加者：30名

(講演内容)

講師：I F A H専務理事 バーバラ・フレシェン

I F A H抗菌性物質作業部会座長 オリビエ・エスペイセ

演題：抗菌性物質の世界的視野での規制動向と畜産現場での利用

(2) 広報活動事業 (自主事業)

公益事業活動の一層の推進を図るため、ホームページ掲載事項の全面的な見直し、動物薬に関する普及、動物薬の適正使用の推進、通知資料の検索システムの構築等広報活動を強化した。

(3) 委員会の開催

ア 教育研修委員会

(ア) 22年度第1回教育研修委員会

日時：平成22年7月13日(水) 13:30~16:30

場所：東京薬業厚生年金基金第2会議室

議題：1 第42回学術講習会開催計画

2 第31回動物用医薬品等製造販売管理者講習会開催計画

3 秋の特別研修会実施計画

イ 広報委員会

(ア) 22年度第1回広報委員会

日時：平成22年6月2日(水) 13:30~17:00

場所：東京薬業厚生年金基金第2会議室

議題：1 JVPA DIGEST 第38号の編集

2 JVPA DIGEST 第39号の企画

3 協会ホームページの整備方向

(イ) 22年度第2回広報委員会

日時：平成22年9月15日(水) 13:30~17:00

場所：東京薬業厚生年金基金第2会議室

議題：1 JVPA DIGEST 第39号の編集

2 JVPA DIGEST 第40号の企画

(ウ) 22年度第3回広報委員会

日時：平成23年1月19日(水) 13:30~17:00

場所：東京薬業厚生年金基金第2会議室

議題：1 JVPA DIGEST第40号の編集
2 JVPA DIGEST 第41号の企画

(エ) 22年度第1回広報委員会HP小委員会
日時：平成22年5月27日(木) 13:30～15:30
場所：東京薬業厚生年金基金第2会議室
議題：HP整備方向

(オ) 22年度第2回広報委員会HP小委員会
日時：平成22年8月10日(金) 13:30～17:00
場所：東京薬業厚生年金基金第2会議室
議題：HP整備方向

(4) 会報等配布事業

ア 動物薬事

第48巻第4号(N0571)～第49巻第3号(582号)
毎月25日に発行

イ JVPA DIGEST

第38号～第40号
平成22年7月、10月、平成23年2月に発行

ウ 国際情報

第26巻第2号(N0100)～第4号(N0102)
平成22年7月、9月、平成23年2月に発行

(5) 関係図書出版事業

ア 動物用医薬品等製造販売指針(平成23年版)の発刊
平成23年版を平成23年2月に刊行
発行部数：600部

イ 家畜共済薬効別薬価基準表(平成22年度版)の発刊
平成22年度版を平成23年4月1日に刊行
発行部数：1350部

ウ 動物用医薬品医療機器要覧(2010年版)の発刊

2010年版を平成22年6月30日に刊行
発行部数：1850部

5 動物用医薬品等の関係法令の調査及び研究に関する事業

定例協議会の開催、関係ガイドラインの策定、動物用医薬品の承認基準の国際的調和、承認基準等の調査・研究を行った。また、VICH対応委員会、抗菌性物質製剤委員会、生物学的製剤委員会、水産用医薬品委員会、医療機器委員会、伴侶動物用医薬品委員会、技術問題検討委員会、国際情報委員会を開催して動物用医薬品等に係る制度及び制度から派生する今日的な諸課題について検討した。

(1) 第20回定例協議会

日時：平成22年11月24日（水）15:30～18:00

場所：馬事畜産会館第1・2会議室

議題：第21回定例協議会提案事項に対する回答と質疑

参集者：①技術問題検討委員会委員（21名）

②協会会員（オブザーバー）（7名）

③農林水産省（9名）

(2) エコフィード利用安全推進事業（JRA助成事業）

エコフィードに添加する抗菌剤等の影響程度を調査・分析し、抗菌剤の適切な使用方法の普及・啓蒙を図るためのマニュアル原案を作成した。

ア 委員会の開催

(ア) 22年度第1回事業推進委員会

日時：平成22年7月29日（木）13:30～17:00

場所：馬事畜産会館第3会議室

議題：事業実施計画等

(イ) 第2回事業推進委員会

日時：平成23年3月17日（木）13:30～17:00

東日本大震災に伴う交通事情悪化により開催中止

(ウ) 22年度第1回専門委員会の開催

日時：平成22年5月12日（水）13:30～17:00

場所：東京薬業厚生年金基金第4／5会議室

議題：事業実施方法等

(エ) 22年度第2回専門委員会の開催

日時：平成22年9月24日（金）13:30～16:00

場所：東京薬業厚生年金基金第2会議室

議題：事業計画の変更、マニュアル作成方法等

(オ) 22年度第3回専門委員会の開催

日時：平成23年2月22日（火）13:30～17:00

場所：東京薬業厚生年金基金第2会議室

議題：事業成績、マニュアル作成状況等

(カ) 22年度第4回専門委員会の開催

日時：平成23年3月17日（木）

東日本大震災に伴う交通事情悪化により開催中止

イ 調査研究事業

①エコフィードのpH試験、②エコフィード中の抗菌活性試験を実施

(3) 動物用生物学的製剤基準国際化対策事業（国庫補助事業）

動物用生物学的製剤基準を製剤毎の規定から成分毎の規定にモノグラフ化し、ワクチンの研究開発・承認申請事務の効率化に資する。本年度は、EU、US等の調査結果を基に日本版モノグラフの構成要素、モデル製剤のモノグラフを作成した。（平成21年度～25年度）

ア 委員会の開催

(ア) 22年度第1回動物用ワクチン国際化検討委員会

日時：平成22年10月6日（水）13:30～16:30

場所：東京薬業厚生年金基金第2会議室

議題：22年度事業計画、ガイドライン作成等

(イ) 22年度第2回動物用ワクチン国際化検討委員会

日時：平成23年2月16日（水）13:30～16:30

場所：東京薬業厚生年金基金第2会議室

議題：日本版モノグラフ構成要素等

(ウ) 22年度第1回ガイドライン委員会

日時：平成22年9月9日（木）13:30～16:30

場所：東京薬業厚生年金基金第4／5会議室

議題：1 モノグラフ化基準

2 多価ワクチンの考え方

3 同等性の基準

(エ) 22年度第2回ガイドライン委員会

日時：平成22年11月30日（火）13:30～16:30

場所：東京薬業厚生年金基金第4／5会議室

議題：1 モデル製剤のモノグラフ原案

2 複合製剤

3 同等性

4 一般モノグラフ

(オ) 動物用医薬品安全等対策推進協議会打合会議

日時：平成22年11月8日（月）13:30～15:00

場所：協会会議室

議題：1 モデル製剤のモノグラフ原案

2 複合製剤

3 同等性

4 一般モノグラフ

(カ) ガイドライン委員会打合会議

日時：平成22年12月14日（火）18:00～20:00

場所：メリアルジャパン株式会社会議室

議題：1 EUのモノグラフ（EMAとのミーティング）

(4) 動物用医薬品国際基準等対策事業（継続：国庫補助事業）

動物用医薬品の承認基準の国際的調和を図るため、学識経験者等からなる専門委員会を開催し、トピックリーダーから提示された基準等の検討、各国の承認基準等に関する資料収集・翻訳及び調査を行うとともに、VICH会議に参加した。

ア 委員会（国内委員会）の開催

(ア) 企画調整委員会

ア) 22年度第1回企画調整委員会

日時：平成22年6月15日 15:00～17:30

場所：農林水産省消費・安全局会議室

議題：第24回VICH運営委員会上程議題への対応

イ) 22年度第2回企画調整委員会

日時：平成23年2月15日(火) 15:00～17:30

場所：農林水産省消費・安全局会議室

議題：第25回VICH運営委員会上程議題への対応

(イ) 急性参照用量専門委員会

ア) 第2回急性参照用量専門委員会

日時：平成22年10月12日(火) 14:30～17:00

場所：東京薬業厚生年金基金第2会議室

議題：VICH安全性作業部会急性参照用量GLへの対応

イ) 第3回急性参照用量専門委員会

日時：平成22年12月13日(月) 13:30～17:00

場所：東京薬業厚生年金基金第2会議室

議題：VICH安全性作業部会急性参照用量GLへの対応

(ウ) 生物学的製剤検査法専門委員会

ア) 第1回生物学的製剤検査法専門委員会

日時：平成22年5月19日(水) 13:30～17:00

場所：東京薬業健保会館小会議室

議題：1 検討課題への対応

2 公開会議への対応

イ) 第2回生物学的製剤検査法専門委員会

日時：平成22年11月29日(水) 13:30～17:00

場所：東京薬業厚生年金基金会議室

議題：1 米国提案マイコプラズマ試験法ガイドラインへの対応

2 迷入ウイルス否定試験法ガイドラインへの対応

ウ) 第3回生物学的製剤検査法専門委員会

日時：平成23年3月16日(水) 13:30～17:00

東日本大震災に伴う交通事情悪化により中止

(エ) 代謝残留動態専門委員会

日時：平成22年7月6日（火）13:30～17:00

場所：東京薬業厚生年金基金第2会議室

議題：G Lの署名への対応

(オ) 生物学的同等性専門委員会

ア) 第1回生物学的同等性専門委員会

日時：平成22年11月2日（火）13:30～17:00

場所：ホテルかずさ会議室

議題：議長提案への対応

イ) 第2回生物学的同等性専門委員会

日時：平成22年11月25日（木）13:30～17:00

場所：ホテルかずさ会議室

議題：ガイドラインドラフト1への対応

ウ) 第3回生物学的同等性専門委員会

日時：平成23年3月9日（水）13:30～17:00

場所：東京薬業厚生年金基金会議室

議題：ガイドラインドラフト1への対応

イ 国際会議の開催

(ア) 第4回公開会議

日時：平成22年6月24日～25日

場所：仏国パリ（O I E本部）

(イ) 運営委員会

ア) 第24回運営委員会

日時：平成22年6月23日～26日

場所：仏国パリ（O I E本部）

議題：1 施行済みG Lの見直しの要否

2 G Lの各国施行状況

3 各専門作業部会の進捗状況の評価

4 新規課題

(業界側委員：小松忠人 (DS ファーマアニマルヘルス) 梶原雅哉 (共立製薬))

イ) 第25回運営委員会

日時：平成23年2月23日～24日

場所：米国ワシントン

議題：1 施行済みGLの見直しの要否

2 GLの各国施行状況

3 各専門作業部会の進捗状況の評価

4 新規課題

(業界側委員：小松忠人 (DS ファーマアニマルヘルス) 梶原雅哉 (共立製薬))

(ウ) 第1回世界協調グループ特別会合

日時：平成22年12月1日～2日

場所：仏国パリ (OIE本部)

議題：VICH拡張戦略

(業界側委員：梶原雅哉 (共立製薬))

(エ) 第2回微生物ADI作業部会

日時：平成23年1月17日～21日

場所：日本東京 (農林水産省会議室)

議題：微生物ADIGL36Rの検討

(業界側委員：坂下満明 (明治製菓))

(オ) 急性参照用量作業グループ会議

日時：平成22年10月25日～26日

場所：米国ワシントン

議題：急性参照用量GLの検討

(業界側委員：澤井省三 (バイエル薬品))

(カ) 第12回医薬品監視専門作業部会

日時：平成22年6月16日～22日

場所：英国ロンドン

議題：GLの合意・署名

(業界側委員：内田幸治 (ファイザー))

(キ) 第3回代謝残留動態専門作業部会

日時：平成22年10月6日～8日

場所：米国ワシントン

議題：GLの合意・署名

(業界側委員：福本一夫(日本イーライリリー))

(ク) 第1回生物学的同等性専門作業部会

日時：平成23年3月15日～18日

場所：米国ワシントン

議題：GL案

(業界側委員：高村二三知(フジタ製薬))

(5) 動物用医薬品等規制緩和対策事業(国庫補助事業)

動物用医薬品等のうち、安全性上問題ないものについて、動物用医薬部外品の動物用医薬部外品への移行、動物用医療機器区分のクラスIIへの移行、承認審査資料の簡略化するために必要な規制緩和検討資料の作成について検討した。

ア 委員会の開催

(ア) 動物用医薬部外品規制緩和委員会

ア) 22年度第1回動物用医薬部外品規制緩和委員会

日時：平成22年9月7日(火) 13:30～16:30

場所：東京薬業厚生年金基金第2会議室

議題：1 事業実施計画

2 医薬部外品選定作業

3 大臣指定部外品

4 付帯条件等

イ) 22年度第2回動物用医薬部外品規制緩和委員会

日時：平成23年1月25日(火) 13:30～16:30

場所：東京薬業厚生年金基金第2会議室

議題：1 医薬部外品規制緩和措置内容

(イ) 動物用医療機器規制緩和委員会

ア) 22年度第1回動物用医療機器規制緩和委員会

日時：平成22年9月28日(火) 13:30～16:30

場所：東京薬業厚生年金基金第2会議室

議題：1 平成22年度事業実施計画

2 クラス分類の規制緩和

3 申請資料等の簡略化

- イ) 22年度第2回動物用医療機器規制緩和委員会
日時：平成23年2月8日（火）13:30～16:30
場所：東京薬業厚生年金基金第2会議室
議題：1 医療機器クラス分類基準
2 承認申請に必要な資料の簡略化
3 手引き書案

(ウ) 動物用医薬承認審査資料規制緩和委員会

- ア) 22年度第1回動物用医薬品承認審査資料規制緩和委員会
日時：平成22年7月30日（金）13:30～16:30
場所：東京薬業厚生年金基金第4／5会議室
議題：1 平成22年度事業実施計画
2 条件付き承認制度
3 資料簡略化

- イ) 22年度第2回動物用医薬品承認審査資料規制緩和委員会
日時：平成23年2月2日（水）13:30～16:30
場所：東京薬業厚生年金基金第2会議室
議題：1 規制緩和措置内容の検討状況

イ 関係情報の調査及び収集

- (ア) 米・欧等の動物用医薬品等の規制に関する資料の調査収集
- (イ) 人用医薬品の規制に関する資料の調査収集
- (ウ) 人用医薬品の類別に関する資料の調査収集
- (エ) 医薬部外品・医療機器リスト表の作成
- (オ) 医薬部外品への移行、医療機器のクラス分類に関する業界要望

(6) 委員会の開催

ア 抗菌性物質製剤委員会

- (ア) 22年度第1回抗菌性物質製剤委員会
日時：平成22年10月29日（金）13:30～16:00
場所：東京薬業厚生年金基金第4／5会議室
議題：1 委員長互選
2 動物用抗生物質医薬品基準の改正について

3 抗菌性物質薬剤耐性菌評価情報整備事業の公募について

イ 技術問題検討委員会

(ア) 22年度第1回技術問題検討委員会

日時：平成22年7月27日（火）13:30～17:00

場所：馬事畜産会館第1会議室

議題：1 委員長互選

2 第21回動物薬事問題定例協議会提案・要望事項まとめ

(イ) 22年度第2回技術問題検討委員会

日時：平成22年11月24日（水）13:30～15:00

場所：馬事畜産会館第1・2会議室

議題：1 第22回動物薬事問題定例協議会提案事項の募集

2 第4回ベンチマーキングの現状とJVPAの対応

3 使用禁止期間・休薬期間等に関する専門委員会の設置

ウ 国際情報委員会

(ア) 22年度第1回国際情報委員会

日時：平成22年6月10日（木）13:30～16:00

場所：東京薬業厚生年金基金第2会議室

議題：1 第100号誌の編集経緯

2 第101号誌の候補記事の選定

(イ) 22年度第2回国際情報委員会

日時：平成22年8月27日（金）15:00～17:00

場所：東京薬業厚生年金基金第2会議室

議題：1 第101号誌の編集経緯

2 第102号誌の候補記事の選定

(ウ) 22年度第3回国際情報委員会

日時：平成23年3月2日（水）13:30～16:00

場所：東京薬業厚生年金基金第2会議室

議題：1 第102号誌の編集経緯

2 第103号誌の候補記事の選定

エ V I C H対応委員会

(ア) 22年度第1回V I C H対応委員会

日時：平成22年6月9日（月）13:30～16:30

場所：東京薬業厚生年金基金第2会議室

議題：1 運営委員会への対応

2 電話会議の要請に対する対応

3 作業部会専門委員の承認と委嘱（報告）

(イ) 22年度第2回VICH対応委員会

日時：平成23年2月1日（火）13:30～16:30

場所：東京薬業厚生年金基金第4・5会議室

議題：1 運営委員会への対応

2 各作業部会の検討状況

1) 微生物学的ADI作業部会関係

2) 急性参照用量作業部会関係

3 作業部会専門家及び国内検討委員会委員の選任

4 報告事項

6 動物用医薬品等の開発・改良及び製造技術の向上に関する事業

動物用医薬品等の開発・改良及び製造技術の向上の促進を図るための事業を展開した。

(1) 動物用インフルエンザワクチン実践的株変更法確立事業

(平成20～22年度：全国競馬・畜産振興会助成事業)

(財) 全国競馬・畜産振興会からの助成を受けて、インフルエンザ流行株に迅速的確に対応できるようにするため、ワクチン株選定時に不可欠な試験の範囲、試験方法を調査し、インフルエンザ株変更方法の確立、ワクチン候補株の選定を行った。

ア 委員会の開催

(ア) 22年度第1回委員会

日時：平成22年7月21日（水）15:30～17:30

場所：東京薬業厚生年金基金第2会議室

議題：21年度事業報告、22年度事業実施計画、

(イ) 22年度第2回委員会

日時：平成23年3月3日（水）13:30～17:00

場所：東京薬業厚生年金基金第2会議室

- 議題： 1 事業報告
- 2 事業評価

イ 動物インフルエンザワクチン実践的株変更調査事業

(ア) 馬インフルエンザワクチン実践的株変更調査事業

馬インフルエンザの流行状況について文献検索を行う。

(イ) 豚インフルエンザワクチン実践的株変更調査事業

豚インフルエンザの流行状況についての文献検索、日生研に委託しての農場の抗体調査、動物衛生研究所に委託しての豚インフルエンザ野外流行株の抗原変異、候補株の物理・化学・生物学的性状、抗原性、病原性調査を行う。

(ウ) 鳥インフルエンザワクチン実践的株変更調査事業

鳥インフルエンザの流行状況について文献検索を行うとともに、北里研究所、化学及血清療法研究所に委託して候補株の物理・化学・生物学的性状、抗原性、病原性調査を行う。

(2) 抗菌性物質薬剤耐性評価情報整備事業（国庫補助事業）

食品を介してヒトに薬剤耐性菌が伝搬する可能性が懸念されている中、食品安全委員会での評価後のリスク管理措置のための情報の収集及び解析を行う。本事業は財団法人畜産生物科学安全研究所との共同で実施し、本協会は薬剤耐性菌調査ツール（薬剤感受性ディスク）の供給促進に関する資料の収集、解析を行った。

ア 委員会の開催

(ア) 22年度第1回動物用医薬品安全推進委員会

日時：平成22年9月29日（水）13:30～16:30

場所：東京薬業厚生年金基金第2会議室

議題： 1 獣医師による抗菌剤の慎重使用に関するガイドライン案の
畜産生物科学安全研究所による説明

2 事業実施方法

(イ) 22年度第2回動物用医薬品安全推進委員会

日時：平成23年1月27日（木）13:30～16:00

場所：東京薬業厚生年金基金第2会議室

議題：1 事業報告

イ 調査研究

- (ア) 薬剤感受性試験ディスクの開発に必要な情報収集
- (イ) 薬剤感受性試験ディスクの優先順位に関する調査
- (ウ) 薬剤感受性試験ディスクの卸売り所社の確認調査
- (エ) ブレークポイント調査
- (オ) 承認申請必要資料等の調査
- (カ) 開発したディスクの使用促進策
- (キ) 今後開発される新規抗菌剤のディスクの開発戦略

(3) 抗菌性物質薬剤耐性評価情報整備強化事業（国庫補助事業）

食品を介してヒトに薬剤耐性菌が伝搬する可能性が懸念されている中、家畜に抗菌性物質が使用された場合のヒトの健康に対するリスクについて食品安全委員会に諮問されていることを踏まえ、リスク評価に必要な資料の作成を行う。

(対象とする抗菌性物質)

- ①テトラサイクリン系抗生物質
- ②ペプチド系抗生物質
- ③マクロライド系抗生物質
- ④安息香酸ビコザマイシン
- ⑤スルホンアミド系合成抗菌剤
- ⑥ナイカルバジン

ア 委員会の開催

- (ア) 22年度第1回食品健康影響評価情報検討委員会
日時：平成23年1月18日（火）13:30～16:30
場所：東京薬業厚生年金基金第2会議室
議題：1 平成22年度事業の実施について
2 その他

- (イ) 22年度第2回食品健康影響評価情報検討委員会
日時：平成23年3月22日（火）13:30～16:30
東日本大震災に伴う交通事情悪化により開催中止

- (ウ) 22年度第1回食品健康影響評価情報担当者会議

日時：平成23年2月7日（月）13:30～16:30
場所：東京薬業厚生年金基金第4・5会議室
議題：1 平成22年度事業の実施について
2 その他

イ 調査研究

- (ア) 食品健康影響評価に必要な情報の所有状況調査
- (イ) 食品健康影響評価に必要な情報の活用の可否調査
- (ウ) 食品健康影響評価に必要な情報の作成
- (エ) 抗菌性物質の使用量に関する調査

7. 動物用医薬品等の需給及び価格の調査に関する事業

家畜共済委員会、流通問題委員会を開催して動物用医薬品等の需給及び価格について調査・検討した。

(1) 委員会の開催

ア 家畜共済委員会

- (ア) 22年度第1回家畜共済委員会

日時：平成22年10月25日（月）13:30～16:30

場所：馬事畜産会館第1会議室

議題：1 委員長互選

2 委員会運営要領

3 共済薬価収載の問題点と要望

- (イ) 22年度第2回家畜共済関係小委員会

日時：平成22年12月17日 13:30～16:30

場所：協会会議室

議題：1 委員長互選

2 薬効別薬価基準表の編集

イ 流通問題委員会

- (ア) 22年度第1回流通問題委員会小委員会

日時：平成22年7月22日（木）13:30～16:30

場所：東京薬業厚生年金基金第2会議室

議題：1 動物用医薬品の公告ガイドラインと比較広告等について

(イ) 22年度第2回流通問題委員会小委員会

日時：平成23年3月29日（火）13:30～16:30

東日本大震災に伴う交通事情悪化により開催中止

8 動物用医薬品等の関係業者の相互協力・関係業界の発展に関する事業

行政当局等からの調査協力、周知依頼等に協力するとともに、会員への情報伝達の円滑化を図るため、ホームページの充実を図った。

(1) 情報伝達の円滑化

行政当局等の調査協力及び周知依頼に適確に対応した。

9 動物の衛生の向上のための協力に関する事業

人獣共通感染症等が多発していることを踏まえ、国家防疫の推進に協力するため、豚コレラ防疫対応委員会、狂犬病ワクチンシード委員会等の開催、国内外における人獣感染症への防疫資材に関する情報の収集・提供、調査・研究を行った。

(1) 検査用稚魚の安定的確保事業

水産用ワクチンの検査、製剤開発用に供試される稚魚（モジャコ）の適期での確保が困難な状況にあることから、ブリ種苗の安定的確保するため、検査・研究に用いるブリ種苗の開発調査研究を水産総合研究センターと契約し、関係8所社の協力により試験を実施するとともに、人工種苗の安定的確保対策について協議するため、水産総合研究センターと水産用ワクチンを製造・研究している8所社による検討会を開催した。

ア 検討会の開催

日時：平成23年2月23日（水）14:00～16:30

場所：東京薬業厚生年金基金第2会議室

議題：1) 平成22年度共同研究成果

2) 平成23年度以降の共同研究

(2) 委員会の開催

ア 狂犬病ワクチンシード委員会

(ア) 平成22年度第1回狂犬病ワクチンシード委員会

日時：平成22年6月11日（金）13:30～16:00

場所：協会会議室

議題：1 狂犬病参照ワクチン2の保存安定性試験

2 委員会の名称と役割

3 狂犬病ワクチンの使用上の注意の変更

(イ) 平成22年度第2回狂犬病ワクチンシード委員会

日時：平成22年10月20日（水）13:30～16:30

場所：協会会議室

議題：1 狂犬病ワクチンシード委員会の名称と役割

2 シードロット製剤化の取組みと進捗状況

3 当該製剤の使用上の注意の変更と進捗状況

4 狂犬病ウイルスに対するワクチン注射犬の有効性について

7. その他協会の目的を達成するために必要な事業

行政当局からの通知の伝達、関係団体、海外団体（IFAH）との交流、連携を通じて関係情報を収集し、本協会の会務に活用した。また、平成22年度全国家畜保健衛生業績発表会、財団法人日本農林漁業振興会主催「平成22年度（第49回）農林水産祭」、動物愛護週間中央行事実行委員会等主催「動物愛護ふれあいフェスティバル」等に協賛するとともに、宮崎県下の口蹄疫被害への支援として、社会福祉法人宮崎県共同募金会及び日本獣医師会（口蹄疫現地産業動物診療活動復興支援義援金口座）に義援金の支出を行った。